社会資本整備総合交付金 事後評価シート 堅田地区都市再生整備計画

令和3年3月

滋賀県大津市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	滋賀県		市町村名 大津市				地区名		堅田地区				面積	454ha	
交付期間	平成27年度~令和元年度		事後評価実施時期	評価実施時期 令和2年度			交付対象事業費		413.7(百万円) 国費率		0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、	基幹事業	事業名 道路(今堅田真野線、市道幹1014号線)、高質空間形成施設(堅田駅西口広場、本堅田真野線)												
	実施した事業	提案事業			なし										
			事業名					削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
	当初計画から削除した	基幹事業						_				_			
	事業	提案事業	なし					_				_			
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(市道北2145号線)、高質空間形成施設(市道幹1012号線他)、街なみ 環境整備事業(堅田千軒まちなみ整備事業)					快適な移動空間の形成、回遊性を高めること及びまちなみ景 観の保全形成により、観光資源の魅力の一層の向上を図る ため。				指標1「観光客数」の目標値を上方修正			
		提案事業	なし						_	_					
	交付期間	当 初				間の変更による事業、		なし							
	の変更 変 更		十八27千尺。			標、数値目標への影響		みし							
2)都市再生整備計画 に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況	指 標		単位	従前個	直 基準年度	目標個	直 目標年度	数 モニタリング	<u>値</u> 評価値	_ 目標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要 (総合所見	_	フォローアップ 予定時期	
	指標1	観光客数	千人/年	629	H25	662	R1		687	0	あり — なし —	堅田千軒まちなみ整備事業 広場、市道幹1012号線の による地域の魅力の向上へ 号線の整備による地区への 向上により、観光客数が増 成に至った。	業や堅田駅西口)整備事業など や、市道北2145 Dアクセス性の	_	
	指標2	地区内4地 田駅まで自 用しての平	家用車を利分	21.3	H26	20.0	R1		20.7	Δ	あり — なし ●	市道幹1009号線、今堅田真野により、走行環境が改善されたウン及び衣川の住宅地からの時間が改善された。一方で、広域からのアクセス川る真野に及び道の駅米プラザは、橋の架け替えのための迂号線の合流する新宿橋交差点生により到達時間が悪化した。	ことで、ローズタ 2ルートでは到達 レートにもなってい からの2ルートで 回や市道幹1009 な付近での渋滞発 数値は改善され	-	
3)その他の数値指標		指 標	従前値 単位		直 基準年度	目標値 目標年度		数	値 評価値	目標 達成度※1	1年以内の 達成見込み	効果発現要 (総合所見		フォローアップ 予定時期	
(当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	その他の 数値指標1	-	<u> </u>	_	基华 <u>年</u> 度		日標年度	モニタリング	<u> </u>	建成侵※1	達成兄込み	一 一)	<u> </u>	
4)定性的な効果 発現状況	土地区画整理事業により人口の集積を図ることで、市北部の地域拠点としての都市機能の充実に向けたまちづくりに寄与した。また、交通結節点である堅田駅西口広場は、地域の住民や近隣の大学と連携しながらデザインの検討を進めたこ で、シェルターや街灯、植樹などのデザインに地元らしさや地域らしさが取り入れられたものとなっているほか、子供達がデザインしたオブジェが取り付けられており、地域住民の愛着が大きいものとなっている。												検討を進めたこと		
5)実施過程の評価			実施内容				都市重生製	実施状況 3市再生整備計画に記載し、実施できた				今後の対応方針等			
	モニタリング		都市				都市再生整 都市再生整	整備計画に記載はなかったが、実施できた 整備計画に記載したが、実施できなかった —				_			
	住民参加プロセス		空田地区の保全・活用していくへき歴史的風教寺に関する意見 都市再交換					整備計画に記載はなかったが、実施できた ● に取組ん				でに、市と地域住民との協働により、景観協定の締結や修景事業 んできた。今後も、歴史的風致維持向上計画において、重点区域 とし、各種施策を展開する。			
	710		堅田駅西口広場のデザイン検討				都市再生整 都市再生整	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施できた 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				_			
	持続的なまちづくり 体制の構築		<u> </u>				都市再生整	月生整備計画に記載し、実施できた 月生整備計画に記載はなかったが、実施できた 日生整備計画に記載したが、実施できなかった —				_			

様式2-2 地区の概要

堅田地区(滋賀県大津市)都市再生整備計画の成果概要 まちづくりの目標 目標値 評価値 目標を定量化する指標 従前値 湖岸部の歴史的資源を活かしたまちづくり 観光客数 千人/年 629 H25 662 R1 687 R1 ①琵琶湖湖岸における中世の歴史的な観光資源を活かした都市観光の振興 地区内4地点からJR堅田駅まで自家用車を利用して ②JR堅田駅周辺の都市基盤整備による市街地周辺部の居住環境の向上 21.3 H26 20.0 R1 20.7 R2 の平均到達時間 〇関連事業 〇関連事業 本堅田真野線 堅田駅西口駅前広場 本堅田衣川線 堅田駅西口土地区画整 (県道仰木本堅田線) 本堅田真野線 一級河川真野川 O関連事業 市道幹1009線 ■高質空間形成施設 市道幹1012号線他 ■高質空間形成施設 今堅田真野線 市道幹1012号線他 ■街なみ環境整備 堅田千軒街なみ整備 ■ 基幹事業 提案事業 関連事業 ■街なみ環境整備 堅田千軒街なみ整備 1000m

まちの課題の変化

・堅田千軒街なみ整備事業による修景整備や市道幹1012号線の整備による道路の美装化により、浮御堂をはじめとした多くの歴史的資源が存在する湖岸部の歴史的なまちなみと調和した景観形成に寄与した。 ・本事業による道路の整備や改修などにより交通需要の分散が実現したことで、地域住民や来訪者の移動しやすさが向上した。

・市道幹1009号線や県道仰木本堅田線などの事業が未完了であり、慢性的な渋滞の解消を図るとともに、市北部の地域拠点として日常生活における利便性の向上や地域住民や来訪者の交流を支えていくため、 幹線道路等の維持・充実を図る必要がある。

今後のまちづくり の方策 (改善策を含む)

・景観協定の活用による周辺地域との環境の調和とまち並みの保全に努めるとともに、歴史的風致維持向上計画において、重点区域に設定し、各種施策を展開する。

・未完了の道路整備等の推進により、慢性的な渋滞の解消を図るとともに、市北部の地域拠点として日常生活における利便性の向上や地域住民や来訪者の交流を支えていくため、幹線道路等の維持・充実を図る。